

| | | | |
|-------|--------------|--------|--------|
| 講義名称 | 基礎演習Ⅱ | 担当教員名 | 佐竹 美穂 |
| 科目群 | 必修 (REQ) | | |
| 科目区分等 | 基礎演習 CA4 DI2 | 単 位 | 2 |
| 対象学年次 | 1年・秋学期 | ナンバリング | REQ112 |

| | |
|----------------|--|
| 授業のキーワード | 多文化共生、やさしい日本語、第二言語としての日本語 |
| 授業の概要 | 国際化が進む日本社会において、どのような態度で他者と向き合うべきかについて考えます。自分の周りの「当たり前」を見つめなおし、捉えなおしていきます。 |
| 期待される学習成果 (目標) | 1. 文献の要点をまとめ発表する力が身につきます。 2. グループで話し合うことでコミュニケーション能力が高まります。 3. レポートの書き方や発表の方法について学べます。 |

| 授業展開 | | |
|------|------------|--|
| 回 | テーマ | 内 容 |
| 1 | オリエンテーション | 授業の進め方、評価の方法などを説明します。 |
| 2 | 資料を読む① | 書籍を輪読します。 |
| 3 | 資料を読む② | 書籍を輪読します。 |
| 4 | 資料を読む③ | 書籍を輪読します。 |
| 5 | 資料を読む④ | 書籍を輪読します。 |
| 6 | 発表の準備 | グループ発表に向けた準備 |
| 7 | グループ発表と議論① | 発表者 (グループ発表) と聴衆で議論をします。 |
| 8 | グループ発表と議論② | 発表者 (グループ発表) と聴衆で議論をします。 |
| 9 | グループ発表と議論③ | 発表者 (グループ発表) と聴衆で議論をします。 |
| 10 | グループ発表と議論④ | 発表者 (グループ発表) と聴衆で議論をします。 |
| 11 | 個人テーマ① | テーマの決定: 各自が期末レポートとして取り組む課題のアイデアを持ち寄り、議論をします。 |
| 12 | 個人テーマ② | レポート準備: 各自のテーマに沿って図書資料などを持ち寄り準備を行います。 |
| 13 | 個人テーマ③ | 中間発表: 進捗状況を報告し、議論します。 |
| 14 | レポート作成について | レポートの書き方 (註の付け方・引用等) を確認します。 |
| 15 | 学期の学びのまとめ | 全体のまとめを行います。 |

| | |
|----------------------|---|
| 定 期 試 験 | 期末レポート |
| 授 業 時 間 外 学 習 | グループ発表や個人発表の時間があります。授業時間外に各自準備を行ってください。 |
| 評 価 方 法 | ①授業への貢献度 40% ②期末レポート 60% |
| 使用する教科書 (必ず購入してください) | 吉開 章『入門・やさしい日本語 外国人と日本語で話そう』 (アスク/2020) |
| 参 考 文 献 | |